

THE KOBECCHO

OCTOBER No.330

1988 *10*月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和63年10月1日印刷 通巻330号 昭和63年10月1日発行
毎月1回1日発行





CLASSICAL MODERN

新生、ナビオ阪急ベニヤに、
シャンタル・トーマス、
輝きのデビュー

フェミニンな夢を表現する

シャンタル・トーマスが、

新装・ナビオ阪急ベニヤに、オープン。

季節を彩る憧れブランドの新作も、

ワールドワイドに揃っています。



BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

神戸 本店	三宮センター街	Tel.078(332)2135-6
エルベ店	センタープラザ1F	Tel.078(332)2829
レノマ店	三宮センター街	Tel.078(332)0780-0788
シャコック店	三宮本通り	Tel.078(332)4858
さんちが店	さんちかローザアベニュー	Tel.078(321)2678
イヴ サンローラン店	そごう神戸店本館3F	Tel.078(261)2922
大阪 三番街店	阪急三番街	Tel.06(374)0137
ナビオ店	NAVIO阪急3F	Tel.06(316)1303-4
ミナミ店	虹の街	Tel.06(213)6123
近鉄店	上本町近鉄百貨店3F	Tel.06(773)1117
東京 銀座店	ニューメルサ1F	Tel.03(574)8012
銀座エルベ店	銀座メルサ1F	Tel.03(564)5625
東急店	東急百貨店1F	Tel.03(271)6778
自由ヶ丘店	ニューメルサ自由ヶ丘	Tel.03(724)8888
日比谷店	日比谷シャンテ1F	Tel.03(501)1871

10/1^土 OPEN!

ギャラリー

White House

神戸市中央区北野町2丁目9-6
(ラインの館東隣)



旧アメリカ領事館官舎
神戸市指定伝統的建造物



小松益喜「英三番館」(第9作) 1942年

●常設展●

神戸ゆかりの洋画家たち

金山平三、小磯良平、林 重義、新井 完、田村孝之介、川西 英、別所博資、鴨居 玲、中西 勝、西村 功ら神戸ゆかりの洋画家たちの作品30数点を展示。(作品は順次入替えをいたします)

●開館記念展●

異人館 小松益喜の世界

小松益喜画伯が異人館との出会いから半世紀。神戸の街を詩情豊かに描いた代表作、「英三番館」(第9作)などを展示。(1989年3月21日まで)

展示室観覧料 ● 一般…300円

● 高校生以下…100円

(館内は無料公開)

開館時間 ● 3月→11月 / AM10:00~PM6:00

● 12月→2月 / AM10:00~PM5:00

● 第4水曜日休館(祝日の場合、翌日)

同時OPEN

Cafe はなみつき

アートポスター専門店 アバンテ

●お問い合わせ●

☎078-251-0581

運営／神戸地下街株式会社・神戸市市民文化振興財団

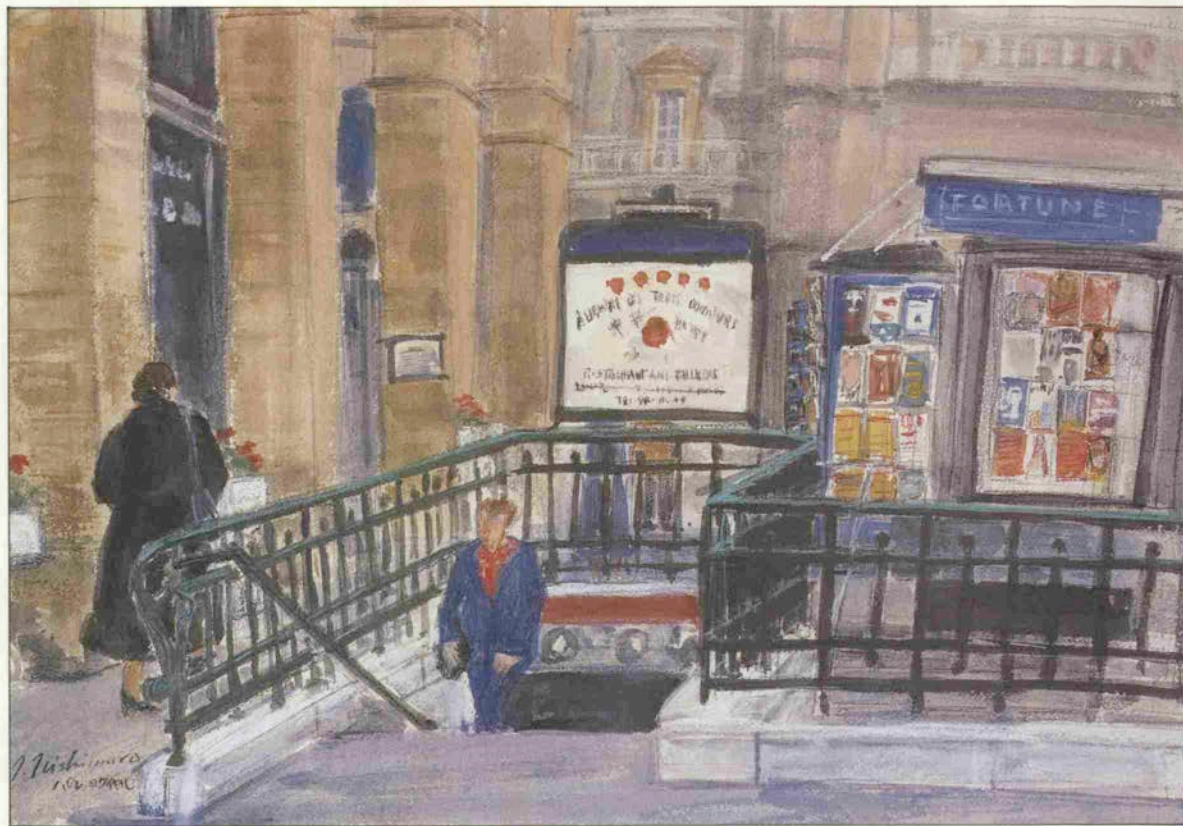
Stefan

'88 Autumn & Winter Collection



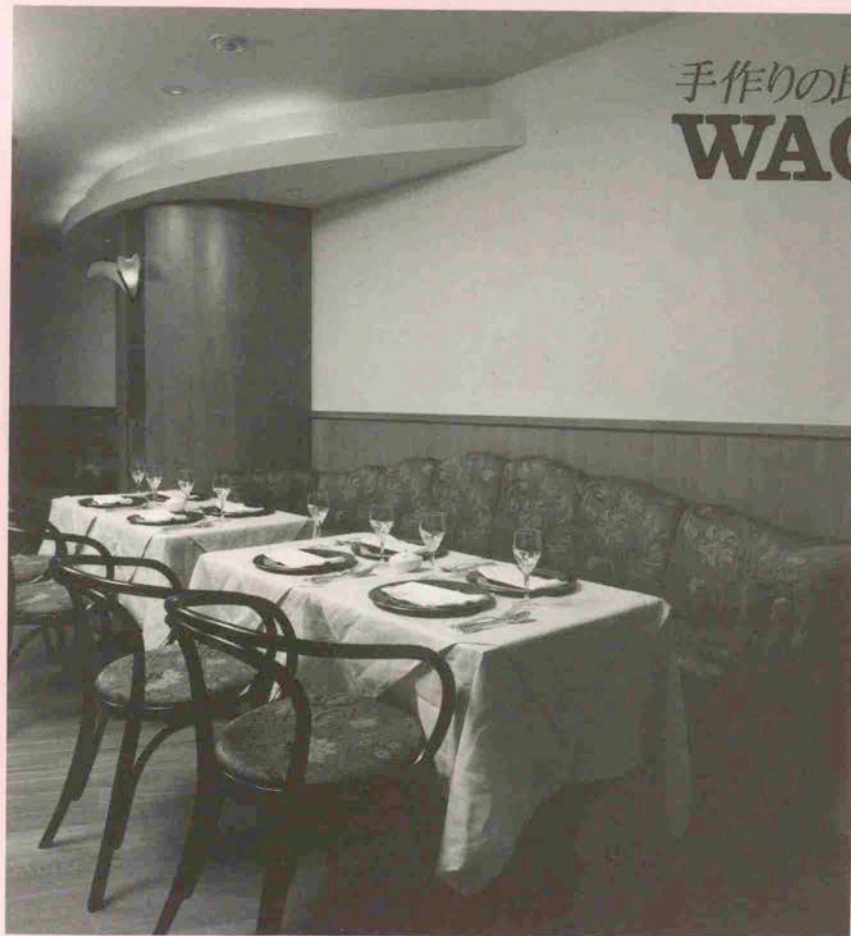
KOBE (078) 303-3911 **AVANT** TOKYO (03) 470-7121

Second Cover ● ヨーロッパの街角から (10)



パレ ロワイヤル駅(1988年)

絵 / 西村 功



手作りの良さを伝えたい。

WAGRAM

●新神戸 ŌPA B3F

Tel. 078-222-4566

その場で作ったフレッシュ
なお菓子を、くつろいだ空
間で召し上がっていただく
ために、お菓子のコースメ
ニューとハイセンスな手作
り家具を御用意しました。
手作りの味を肌で感じて、
すばらしいくつろぎのひと
ときをお楽しみください。

LIVE BETTER KOBE 発

株式会社

クレアシオンズ



手作りの良さをインテリアで表現する

Tel. 078-241-3011

● THE 50TH ANNIVERSARY

美しさへの衣がえはお済みですか？



IMPORTERS & EXPORTERS of Natural Pearls
**KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.**

Order Salon

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)

TEL (078) 221-3170

10:00AM~6:00PM 無休

東京 / 赤坂・銀座・青山 大阪 / 心斎橋



危険なほどに、高くつきそうな恋心

Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表

美しさの内に力を秘めて——丸山有子

（ソプラノ歌手）

カミヤ・池田年夫

丸山さんは神戸女学院大学音楽学部卒業後、NHK「県立つ新人演奏会」「夕べのリサイタル」に放送出演。オペラでは「ねじの回転」のマイルズ、「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼル、「ラ・ボエーム」のミミ、「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタ等に出演。その他、宗教音楽や「第九」のソリスト等、意欲的に活躍している反面、神戸女学院中高部県立西宮高等学校音楽科講師という人材を育てる立場の顔も持つ。まさにバイタリティそのもので、近くにいるだけでもオーラーのように伝わってくるのがわかる。

10月13日に神戸市立博物館で丸山さんのソプラノリサイタルが行われる。意外な事にこれが彼女のソロの初リサイタルである。アルド・プロッティ、ジョルジョ・ロールミといったイタリアの名歌手とも共演し、マダム・パタフライ世界コンクール日本代表にもなった丸山さんでも、初リサイタルを控えて緊張しているという。

「でも緊張は舞台にとって必要なものです。たいした事ではないけれど、聴きに來られた方に一曲でもあの曲が良かったというものがあれば嬉しいです。」と控えめながら抱負の内を語っていた。

美形の容姿を持ち、内に秘めたバイタリティを持つ多彩な才女は目下、満開近しいところである。甲東園在住

（香折園にて）



新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 10月号



表紙の人/やまもと寛高

特集

1. TALK 関西10 '89食博覧会大阪
W・F・Fワールド
ファッションフェア
2. 大阪キタ より快適快適なキタへの提言
アンケートと座談会
3. 日本酒 やっぱり日本酒!!
ワイワイ座談会



- スターハイライト 桂 春蝶
- 世界の一流品
- 上方味覚紀行〈中村楼〉
- 好評連載

〈三林京子のいきいきTALK〉——国松照明(パルトーン社長)
〈男の後ろ姿・わが親父論〉——雀部昌吾(バンドー化学代表取締役専務)
〈創造の世界〉——星電器製造株式会社
〈名医に聞く〉——宇佐晋一
〈程さんのうんちく料理塾〉——きのこ・程一彦



●ビッグインタビュー
会田雄次
(京都大学名誉教授)

ギターのプリンス誕生

原公一郎

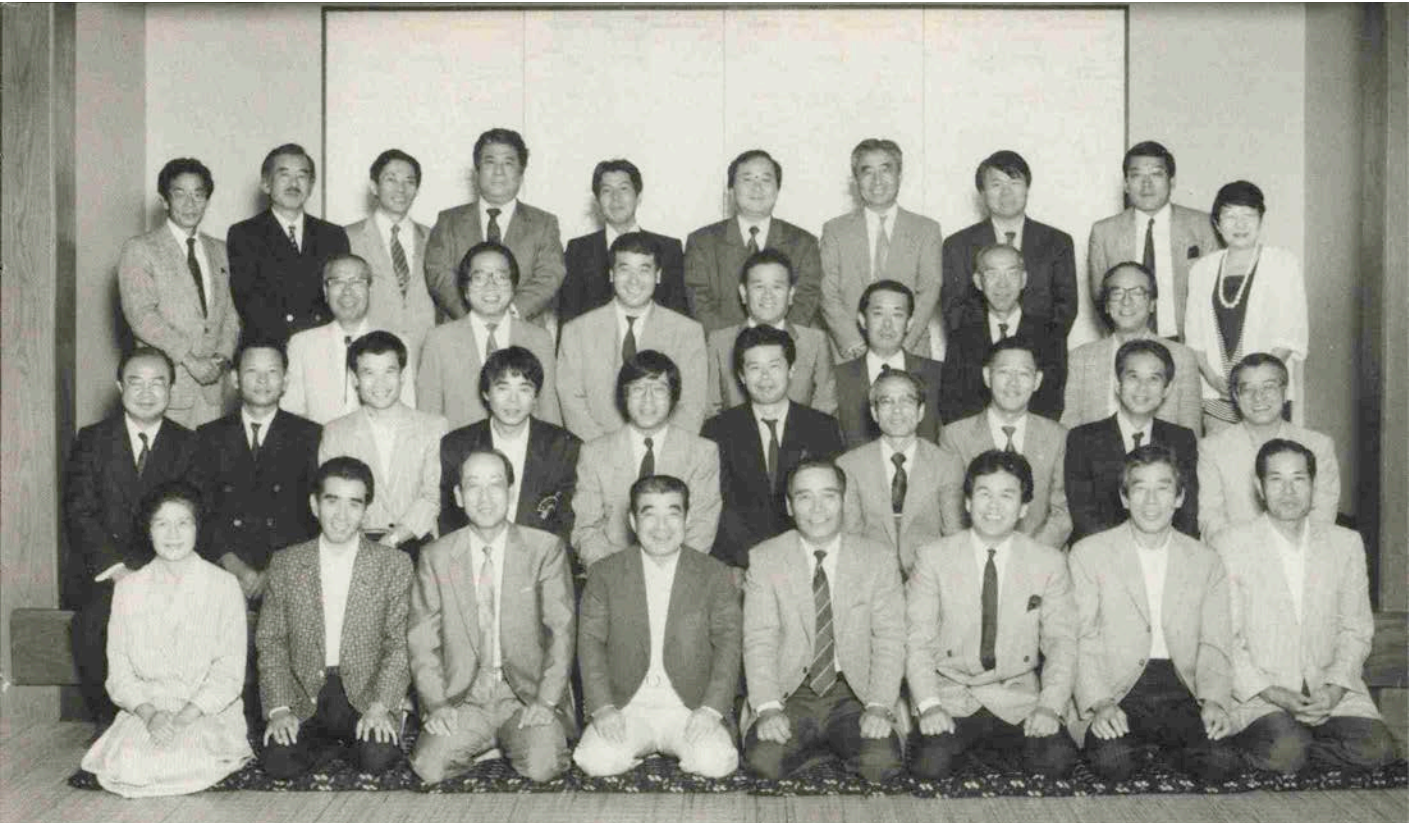
〈ギタリスト〉カメラ 池田年夫

誰でも気軽にギターを始める。しかしその奥は深く、ある程度のレベルに到達できる者はそれほど多くない。

原さんは着実に頂点を目差して前進している。
神戸生まれの神戸育ち。14才の時に教育TVのギター教室を見て、一つの楽器でメロディーと伴奏が同時に演奏できることに驚愕。以来2年間独学、葺合高校2年の時から引井俊雄氏に師事。それ以後は順風満帆。「ジュニアギターコンクール」3位。「東京国際ギターコンクール」1位なしの2位。1984年に渡仏、アルベルト・ボンセ氏に師事。2年後フランスの「サブレ国際ギターコンクール」3位。そして昨年11月帰国。現在はギターの個人レッスンを行いながら、年2回リサイタルを開いていく予定。まず10月16日(日)18..30より神戸ユニオン教会で行う。

「ギターの素晴らしさは、自分の感情をストリートに出せることです」とその魅力を語る。「聴衆の方々にとにかく楽しんでもらいたいですね」と、レパートリーもバツハから現代音楽、そしてボサノバ、サンバまで幅広い。「フランス滞在中に、クラシック音楽、民族音楽、シャンソンと様々なコンサートに足を運んだことが、とても勉強になりました」。ギターが恋人だそうだが、それ以外には写真が大好きとのこと。インタヴュー終了後、同行のカメラマンと写真談義が尽きなかった。
(ギター教室にて)





ある集い□(協)神戸ファッションアソシエーション(KFA)

ファッション環境づくりの
仕掛人めざして

田中勇二郎

〈神戸ファッションアソシエーション〉
専務理事・事務局長

昭和47年、ファッションⅡ生活文化という共通認識をもつ神戸のアパレル企業で結成したKFAは、発足に当って、「ファッション都市づくり」を提案し、これが翌48年のファッション都市宣言の動機づけとなった。提案の精神はファッション環境づくり。これが来秋のファッションタウンの完成や神戸芸術工科大学の開校など、現実のものとなって誠に喜ばしい。

会員総数35社。団体本来の多岐にわたる事業活動に加えて、行政や経済界レベルでの活動の場を与えられる事も多く、業界団体としての責任の重さを痛感している。

感性豊かなファッションビープルに遊び感覚の交流の場を……神戸ファッションタウン協議会と協力して、ファッション都市神戸にふさわしいビッグな仕掛け「KOBEEファッションバイテ」を11月22日(木)ポートピアホテルで開催する。

〈KFAメンバー〉

アシックス、アネックス、アバン、飯田洋、イズム、ヴァレン、エウル、エル、エルミール、エンバイヤー、オイルスタイル、キムラタン、コウベキヤラバン、クオール、金剛商会、ジャヴァグラーブ、シヤルレ、ジュエル、ジュネス、ジェルベール、ファミリア、ボンニランジェリー、マドンナ、ミツワ繊維産業、ミヤギ、モッドオリオン、モッドサン、モッド・パピヨン、モッドリンド、モッド・クレイス、ヤナイ、ユニバース、リオ横山神戸店、ワールド

□KFA事務局/神戸市中央区浜通五丁目一四 神戸商工貿易センタービル5F
電話二五〇一三三三



ある集い□コウベ ファッション モデリスト

夢追い集団 KFM

藤本ハルミ（KFM会長オーロクチユールマーガレット代表）

KFMは創立以来九年目を迎えました。来春三月三日にポートピアホテル南館に於てファッションショーを開催します。

KFMの特にユニークな点はブランドナーとして岡田美代さんや小泉美喜子さん妹尾光子先生が会員として存在してくれていることです。どうしても近視眼的になりがちなデザイナー達には、時の流れや、思いがけない発想のテーマを与えてくれるので、日常生活の中でのファッションと違った創作意欲をかきたてられ、デザイナー達は夢を追いかけてます。

このようにKFMには自分でも思いがけないデザイン力を引き出してくれる素晴らしい人々のハモニイがあります。

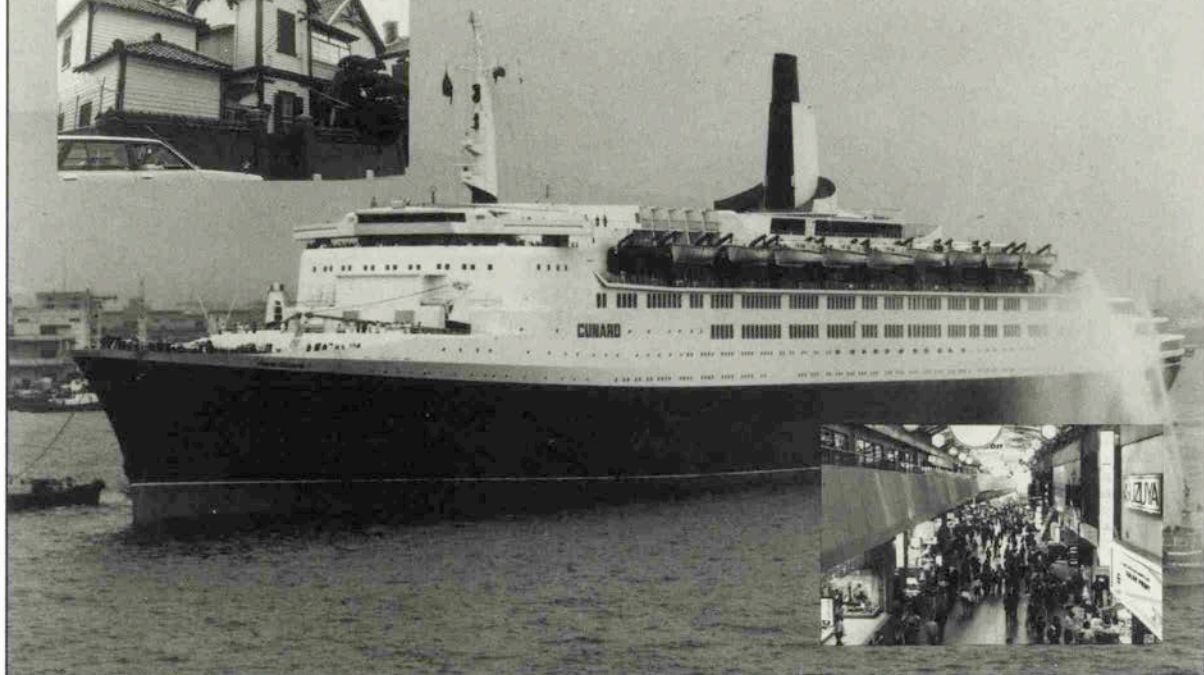
結成以来、特別会員でこの会をこよなく愛してくださった小川先生と、砂川先生、スタッフの照明の林恵介さんを亡くしました。

でも美術の石坂春生先生と共にいつもドレスに命をふきこむような音楽を作ってくれる新井満さんが芥川賞作家となり、皆で大喜びしています。

ブランドナーの妹尾先生は、足元の見えない夢追い集団をひきしめ一段上から我々をまとめ元締のような存在です。三月三日のファッションショーぜひ御覧ください。

■連絡先

神戸市中央区山本通二丁目三ノ七号オーロクチユールマーガレット 藤本ハルミ
☎〇七八二四二五六九〇



ファッション都市神戸を彩る

KFK

神戸婦人子供服小売商組合

事務局/〒650神戸市中央区西町36 三菱信託銀行ビル8F
ファミリア内 ☎321-0345

㈱ファミリア	デパート	㈱川村商店	南美登利屋
㈱アカシヤ	㈱東京屋	南コーラル	ラ・モード洋装店
㈱ウインザー	㈱サロンデ・モード中西	㈱コマツヤ	㈱リザ
日本モード	㈱バリーモード	㈱S'ALJO-	㈱マミーナー
㈱ベニヤ	㈱マキシシ	サブリ靴店	㈱そごう神戸店
㈱ブティック・セリザワ	㈱まさ	㈱春貴洋装店	㈱大丸神戸店
マスマヤ	㈱南ミッチャン	南大学堂眼鏡店	㈱阪急百貨店神戸店
㈱ミヤムラ	㈱アオイ	モードショッPtray	㈱三越神戸支店
㈱マルダイ	石崎商事	㈱日欧洋装	㈱ダイエー
南芸夢	㈱エスター・ニュートン	マミー	南シンワ洋装店
㈱三愛神戸三宮店	㈱ソニープラザ	㊦マルトシ	南スギヤ
			神戸地下街



アルビン・トラー氏



活発な討論が展開された記念対談



中内 功氏

☆神戸JC メモリアルフォーラム

●コウベスナツ

☆「東山魁夷展」開催

創立30周年を迎えた神戸青年会議所（西村 理・理事長）が“時代を飾る”をメインテーマに「メモリアル フォーラム イン KOBÉ'88」を開催した。（9月1日、神戸国際会議場）米国の有名な未来学者アルビン・トララー氏とダイエー会長中内功氏による記念対談から始まり、8つの分科会が開催された。

神戸ゆかりの現代日本画壇の巨匠・東山魁夷の代表作を一堂に集めた「東山魁夷展」が8月27日、神戸市灘区の県立近代美術館で開幕した。同展は東山画伯の60余年にわたる画業活動の代表作90余点を年代を追って展示した回顧点。東山芸術を十分に堪能できるだけでなく、同画伯の足跡がたどれる。

テープカットの様様



子供達と談笑する東山画伯



東山魁夷画伯



新しきクリエーター

美の小箱

松原 政祐

文・赤根 和生 （美術評論家）

“生物の各個体はそれぞれ宇宙と同じ構造をもち、それゆえ宇宙とまったく同じなのである。”と、かの歴史哲学者・故トインビーのことは冒頭に掲げたのは、松原の絵に登場する「生きているものたち」の、限りあるはかない生いのちの現実をみすえ、等しくいとしむ作者の眼差への共感からにほかならない。

人間存在そのものも宇宙の一コマではあるが、大宇宙の眼からは、虫けら同然の小っぽけな単位にすぎない。それが宇宙を汚染、侵害して止まない、それが自己破壊、一破滅につながることも知らぬげに……。秋は確実にやってくるが赤とんぼもみられず、雁の飛来もとつくになくなった。密室の落書よろしく、自由に走る線描は適度なデフォルメによって稚拙味をおびてそこかしこに位置する花、昆虫、草木、ひと、鳥獣のたぐい、齒をむきだす怪魚、落下する人体などなど、そこには生と死のイメージが交錯し、ペシミスティック、乾いた情感を滲ませる。一見、混沌ともみえる画面だが、ふしぎにも秩序がある。（宇宙がそうであるように）。

かつては画面を造形的にひきしめ、まとめたのは中央部ちかくに、他を圧してひときわ大きい人体であった（一九六五）。それは無意識的にせよ人間優位のあらわれ、だが、その直後から人体はサディスティックなほどに部分へと解体（人間性崩壊を暗示）分散、かつ人がたは小単位として他生物とほぼ同寸（へとさらに後退、トインビーが言外に示唆した〈依正不二〉生命主体と環境の一体性）に合致するではないか。



生きるものたち
松原 政祐



- 1951年 神戸生まれ
- 1972年 武蔵野美術学園卒業
- 1980年 県展・兵庫県立近代美術館賞受賞
- 1985年 文化庁主催・現代美術展招待出品
安井賞展出品(86年、87年)
行動展・40周年記念大賞受賞
- 1986年 兵庫の美術家展招待出品(兵庫近代美術館)
行動展・同会会員推挙
- 1987年 ブルーメール賞美術部門受賞
日仏現代美術展・読売テレビ賞受賞